

2021,7月号

ハノイ日本人学校 学校便り

こころの道

令和3年7月1日

Nhan hieu Thong minh Khoe manh



やさしく

ニャンハウ

かしこく

トンミン

たくましく

ホーエマイン



開校 25 周年記念

明石 清二

オンライン授業を続ける毎日ですが、せめて気持ちだけでも前向きに捉えたいものです。

今年は、学校創立 25 周年にあたるので、以下、本校の歴史を振り返ってみます。

今から 28 年前の 1993 年に開校したハノイ補習授業校が本校の前身です。当時は、日本国大使館とベトナム日本商工会が中心となり大使館敷地内において児童生徒 9 名で授業が開始されました。

1996 年には、ベトナム政府が日本人学校設立を正式認可したのを機にハノイ交通通信大学に移転するとともに授業を開始し、5 月 27 日に世界で 92 番目の日本人学校として、本校の開校式を行いました。児童生徒が 13 名でのスタートでした。

その後、児童生徒数は増えたものの、開校初年度の運動会（11 月）ではまだ 20 名でしたので、ハノイに住んでいる日本人社会の皆様に広く参加を呼びかけました。当日は、ハノイスタジアムに 250 名を超える大変多くの方が集まり、賑やかな運動会になりました。綱引きで使った綱は、ハロン湾で船をつなぐために使っていた「ともづな」を利用したそうです。

当時のハノイは、電気や水道があまり整備されていなかったので、毎日、停電していました。

ハノイ市民の交通手段は、自転車とシクロ、そして、少数の小さなバイク。このシクロに乗って通学する児童生徒もいましたし、徒歩で登校する児童生徒もいました。このような交通環境や高温多湿の厳しい気候という危険な通学状況が心配される中、日本の団体と企業から 2 台のマイクロバスを御寄贈いただき、開校 2 年目の 1997 年からスクールバスが運行されました。

1997 年に当時の総理大臣である橋本龍太郎氏が、1998 年に小淵恵三氏が来校されました。

1999 年には秋篠宮同妃両殿下の御訪問を賜りました。

2001 年、在籍していた児童生徒と教職員が、校歌「こころの道」を作詞作曲しました。子供たちが声高らかに歌う校歌は本校の無形の宝物であり、子供たちはいつまでも口ずさむことでしょう。

2006 年に現在の場所に移転しましたが、学校の周囲は、野原や畑が広がっており現在のようなベッドタウンになるとは、誰も予想していなかったようです。

2009 年には、今上天皇である皇太子徳仁親王殿下の御訪問を賜りました。そのときに賜った陶器の壁掛けは、校長室に飾ってあります。

2015 年の B 棟竣工にあたりましては、多くの日系企業・団体に御支援をいただき、屋上にプール施設を備えたすばらしい校舎が完成しました。御尽力いただいた方々の御芳名は、つながりホールの銘板に刻み、末永く引き継いでおります。関係機関の皆様にご心から感謝いたします。

昨年度は、日系企業の工場見学とともに、レクイドン小学校やパスカル小学校などの現地校とも交流を深めました。ベトナムの文化や遊びを教えてもらい、とても楽しく交流することができたのが印象的です。

子供たちには、今できることに精一杯取り組ませることで歴史を積み重ねさせたいと考えています。



校舎全景 B 棟竣工 2015 年当時